

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」平成29年3月21日発行（第13号）

4月の「出会い」をすばらしいスタートにするために

「出会い」こそ人生の宝であり、人生に大きな影響を与えます。「教師は、最大の教育環境」であり、子供の成長の保証人であるともいえます。したがって、教師は子供の未来に責任をもたなければなりません。学級担任の元気で明るい姿が、子供の不安を和らげ、希望をもたせます。「君たちに出会えてうれしい！楽しく居心地のよいクラスをつくっていきましょう！」と笑顔で言ってもらえたら、子供達には、最高にうれしい1日になるのではないのでしょうか。教師の意識で、学級や授業中の雰囲気は変わります。4月の出会いがすばらしいスタートになるように演出を工夫しましょう。（所長講話より）

「黄金の1週間」で大切にしたいこと

【あたたかい人間関係づくり】	【学級のルールづくり】
<input type="checkbox"/> 児童生徒の顔と名前の一致 <input type="checkbox"/> 出迎へのメッセージ（黒板） <input type="checkbox"/> 自己紹介の内容 <input type="checkbox"/> 休み時間の過ごし方 <input type="checkbox"/> 連絡帳の内容（保護者へのメッセージ） <input type="checkbox"/> 学級通信第1号	<input type="checkbox"/> 日直・給食、掃除当番の内容、運営 <input type="checkbox"/> 朝・帰りの会の内容 <input type="checkbox"/> 係活動の内容、運営 <input type="checkbox"/> 学級目標の決定 <input type="checkbox"/> 授業中のルール <input type="checkbox"/> 宿題の内容、提出方法



授業づくりの基礎・基本

～「なるほど」、「わかった」、「できた」という「納得解」を実感できる授業づくりのために～

学習指導の充実を図るために本時のめあてを学習指導要領をふまえて設定し、めあてを達成した児童生徒の姿を明確にとらえ、授業展開することが大切です。

【授業の流れ】

《児童生徒の学習活動》

【導入】

- 学習内容に興味をもつ。
- めあてをつかむ。

【展開】

- 学習内容について個人やグループで考えを深めたり、広げたりする。
- 言葉、数、式、図、表、グラフなどをを用いて、それらを関連付けて伝え合う。

【終末】

- 本時のまとめや振り返りをする。（自分が本時を通して、どのように変容したのか気付く。）



【自己チェックシート】

【導入】

- 学習意欲を高めるめあてや学習課題を設定している。
- 学習の見通しをもたせている。

【展開】

- 児童生徒に伝わる指示や発問をしている。
- 根拠を明確にして、自分で考えたことを書いたり、発表したりする場面を設けている。
- 形式的ではなく、ねらいを明確にした交流を設けている。

【終末】

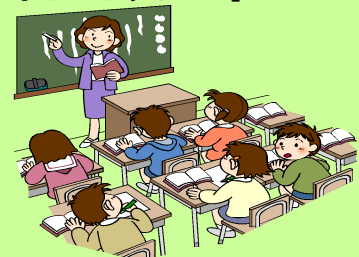
- めあてと評価に整合性がある。
- 計画した指導内容を時間内に終えている。
- 個人で授業を振り返る場面がある。
- 板書に授業の足跡が残されている。



発問は、1時間の授業をゴールに導くための道しるべです。ゴールは同じでも教師や児童生徒の実態によって通る道はさまざまです。展開に応じて、「ここで、何のために、何を考えさせればよいか」を考慮した発問をすることが大切です。学力調査官・教育課程調査官である小松信哉先生の資料の一部を紹介します。校内研修等で活用してください。

【発問のポイント】

- ◇ ある児童生徒が発言したとき、その児童生徒に問い返してみましょう。
 - 根拠（理由）**を問いかける発問 「どうしてそう考えたの？」、「なぜ？どうして？」
 - 考え方**を問いかける発問 「どうやって考えたの？」
 - 事実**を問いかける発問 「どういうこと？」
 - 感性**を問いかける発問 「考えてみてどう思った？」



他の発問例

- ①予想 「～さんの考えの続きがわかりますか？」
- ②再生 「～さんの考えを隣同士で説明し合しましょう。」
- ③要約 「～さんの考えはつまりどういうことですか？」
- ④発見 「～さんのよいところはどこですか？」
- ⑤推測 「～さんはどうしてこの考えがうかんだと思いますか？」
- ⑥共感 「～さんの気持ちがわかりますか？」
- ⑦補助 「ヒントが言えますか？」

校内研修を充実させるために【外国語教育、道徳教育】

★ 外国語教育について（小学校の新たな外国語教育における補助教材）

小学校外国語教育においては、次期学習指導要領に向けた対応として、平成29年度に各小中学校に一部ずつ、以下の3つの資料が配付されます。

- 次期学習指導要領に向けた指導力向上のための文部科学省作成補助教材について
- Hi, friends! Plus DVD
- Hi, friends! Story Books DVD

この中で、Hi, friends! Plusワークシートについては、ダウンロードして使用することができます。各学校においては、これらの教材を小学校外国語教育の早期化、教科化の円滑な実施のための校内研修等で活用してください。

[文部科学省ホームページトップ](#) > [教育](#) > [小学校、中学校、高等学校](#) > [外国語教育](#) で検索できます。

～ Hi, friends! Plus(第5・6学年用)～

- 次期学習指導要領の改訂に向け、身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」ことなどに加え、「読む」「書く」態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養うための教材です。

映像や音声を活用し、

1. アルファベットの文字の認識
2. 日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き
3. 語順の違いなど文構造への気付き

等に関する指導に必要な新たな教材です。



～ Hi, friends! Story Books(第3・4学年用)～

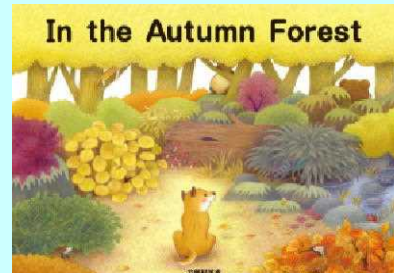
- この教材は、小学校中学年児童の発達段階に応じた「聞くこと」「話すこと」の体験を中心とした外国語活動において活用する「絵本」及び「音声を含んだデジタル教材」です。絵本は教室用大型絵本と児童用小型絵本の2種類があります。

- 児童にとって身近な場面設定をし、簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて友達に質問したり質問に答えたりしながら、外国語によるコミュニケーションを体験し、コミュニケーション能力の素地を育成します。内容は以下のとおりです。

《第3学年 “In the Autumn Forest”》

- ・ 森の中で動物たちがかくれんぼをして遊んでいる場面設定となっています。オニの犬(dog)は、動物の特徴を手がかりに、Are you a...? と言いながら、動物を次々と見つけ出します。動物は、見付かしてしまった自身の体の部位を言い、自身を紹介します。さて、この絵の中に隠れている動物は何でしょう。

- ・ 動物や身体部位、形容詞等の簡単な語彙や表現を用いて、相手のことについて尋ねたり、自分のことについて話したりして表現に慣れ親しむとともに、日本語と英語の音声の違いに気付き、積極的に自分のことについて伝えようとすることをねらいとしています。



＜絵本で「聞く」「話す」の体験を＞

《第4学年 “Good Morning”》

- ・ 男の子が「起床から就寝までの自分の一日」を友達に紹介する場面設定となっています。
- ・ 挨拶や感情表現、日課や学校生活等を扱ったまとまりのある話を聞いて、その概要を理解し、動作を表す簡単な語句や表現を使って積極的に自分のことについて伝えようとすることをねらいとしています。

- デジタル教材(DVD)には、上記絵本の読み聞かせの音声とチャンツを収録しています。英語の音声に加え、チャンツを通して英語特有のリズムに慣れ親しむこともねらいとしています。

★ 道徳教育について

文部科学省ホームページより道徳教育の充実に向けた取組が紹介されています。校内研修等で活用してください。

- ①道徳の評価の基本的な考え方に関するQ&A

[文部科学省ホームページトップ](#) > [教育](#) > [小学校、中学校、高等学校](#) > [道徳教育](#) で検索できます。

- ②学習指導要領新旧対照表

[文部科学省ホームページトップ](#) > [教育](#) > [小学校、中学校、高等学校](#) > [現行学習指導要領・生きる力](#)

> [現行学習指導要領\(本文、解説、資料等\)](#) > [一部改正学習指導要領等\(平成27年3月\)](#)

> [小学校学習指導要領\(平成27年3月\)](#) で検索 できます。

小学校学習指導要領新旧対照表から一部抜粋

＜改正＞

＜現行＞

第3章 特別の教科 道徳 第1 目標

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

第3章 道徳 第1 目標

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。

【4月の予定】

- 4日(火) 臨時的任用職員研修会(筑西合同庁舎)
- 12日(水) 学校概要等説明会(筑西合同庁舎)
- 13日(木) 管内学校教育指導方針等説明会(筑西合同庁舎)
- 17日(月) スクールカウンセラー連絡協議会①(教育研修センター)
- 18日(火) 全国学力・学習状況調査
- 21日(金) 県西地区若手教員指導教員部会(県西生涯学習センター)
- 生徒指導教員連絡協議会①(県民文化センター)

